

令和7年度（神奈川総合高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち、信用失墜行為を未然に防止する。	○事故・不祥事防止会議や研修を計画的に実施し、職員行動指針の周知徹底とともに、公務員としての自覚と倫理観の醸成を図った。 ○日常的な声かけや情報共有を通して風通しのよい職場環境づくりを推進し、組織全体として規範意識の向上が図られ、概ね達成された。
ハラスメントの防止	わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	○防止会議及び研修において具体事例を扱い、ハラスメントの未然防止に向けた理解と当事者意識の向上を図った。 ○SNSや電子媒体の適切な利用についても周知徹底し、職員間の相互牽制と相談体制の充実により、重大事案は発生せず達成された。
体罰・不適切指導の防止	生徒の人権を尊重し、不適切指導を根絶する。	○総括教諭や管理職を中心に相談・支援体制の充実を図り、職員が課題を抱え込まない環境づくりを推進した。 ○日常的なコミュニケーションの活性化と情報共有により同僚性の醸成が進み、組織的な支援体制の強化が図られ、概ね達成された。
成績処理・進路関係書類の事故防止	成績処理及び各種書類の適正な作成・管理を徹底する。	○マニュアルに基づく業務遂行と複数人によるチェック体制を徹底し、正確性を重視した処理を実施した。 ○一部軽微な確認事項は見られたものの重大な事故はなく、研修を通じた意識向上も図られ、概ね達成された。
個人情報管理の徹底	個人情報の漏洩・誤廃棄を防止する。	○情報管理研修を実施し、個人情報の持ち出しや保管、廃棄に関するルールの周知徹底を図った。 ○日常的な確認と管理体制の強化により適切な運用が維持され、情報漏えい等の事案はなく、良好に管理されている。
交通事故・飲酒運転の防止	交通法規を遵守し事故を未然に防止する。	○定期的な注意喚起や啓発資料の配付により、交通法規遵守と飲酒運転防止の意識向上を図った。 ○日常的な安全運転の徹底が図られ、事故及び違反は発生せず、目標は達成された。
業務執行体制の確保	情報共有と相互チェック体制を強化する。	○グループ・年次単位での情報共有を徹底し、業務の進捗管理と相互確認を組織的に実施した。 ○業務の偏在防止と協力体制の強化が進み、安定した業務執行体制が定着し、達成された。
会計事務の適正執行	私費会計の適正な処理を行う。	○会計基準に基づく処理の徹底と複数チェック体制の実施により、適正な会計執行を図った。 ○一部に改善を要する点が見られたことから、継続的な確認体制の強化と意識向上が必要であり、概ね達成された。

<p>入学者選抜に係る 事故防止</p>	<p>入学者選抜業務に係 る事故を未然に防止 する。</p>	<p>○マニュアル整備と事前研修により業務手順の共通理 解を図り、組織的な体制のもとで適切に業務を遂行し た。 ○重大な事故は発生しなかったが、ヒヤリ・ハット事 例を踏まえたさらなる改善が必要であり、概ね達成さ れた。</p>
--------------------------	--	---

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

令和7年度は、事故・不祥事防止会議を中核とした取組を継続的に実施し、全職員の意識向上と組織的な対応力の強化が図られた。多くの項目において目標は概ね達成されており、不祥事の未然防止に一定の成果を上げた。

一方で、成績処理や会計事務、入学者選抜業務においては、軽微な確認事項やヒヤリ・ハット事例が見られ、組織としてのチェック体制やリスク感度のさらなる向上が課題である。

今後は、

- ・事故・不祥事防止会議の内容の質的向上（ケーススタディ化）
- ・マニュアル及びチェックリストの再整備
- ・ICT活用に伴う情報管理の徹底
- ・新任者を含めた体系的研修の充実

を進めることで、不祥事の未然防止・早期発見・再発防止を一層強化し、県民から信頼される学校づくりを推進する。